

青年部報

平成24年11月22日
発行：(社)北九州市
私立保育園連盟
青年部会
発行人：山本 博文
編集人：鷲峰 康尚
橘原 法道

《青年部会 部長挨拶》

山本 博文(別所保育園)

全国私立保育園連盟青年会議では、今年度の取り組みとして「絆プロデュース2012」を笑顔を届けよう福島へ」と称し、各地方組織に支援の輪を広げようと活動しています。

私もその一員として、福島県保育協議会・福島市渡利さくら保育園・

伊達市霊山三育保育園へ行かせていただきました。

原発事故により「毎日の放射線測定」「戸外遊びは1日30分以内」と常に放射線量を基準としなければならぬ日々。運動会やその他行事も戸外で開催できない等、子どもたちや先生方、保護者の方々も今もなおとても辛い思いをしておられます。

そのような中、福島の子どもたちへ私たちにも何か出来ることはないかと考え、北九州市青年部会・熊本県青年部、そして全国の有志の先生方と協力し、青年会議熊本市大会において復興支援Tシャツ販売・募金活動を行いましたところ、本当に多くのご支持をいただくことが出来ました。

北九州市私立保育園連盟青年部会は平成四年の発足以来、今年度で二〇年目を迎えます。その記念といたしまして平成二十五年二月十四日に青年部会二十周年記念式典・玉川大学准教授 大豆生田先生をお招きしての記念講演を開催する運びとなりました。

諸先輩方の残された足跡の大きさを思い、今こうして青年部会として活動させていただけることに深く感謝しつつ、皆様と集い、共に研鑽できることを願っております。多くのご参加をお待ちするとともに、今後とも青年部会の活動へのご協力を頂きます様、お願い申し上げます。



《活動報告》

三月七日	青年部会主催研修会 「ワークライフバランス研修会」
四月二十七日	全私保連青年会議 第一回幹事会
五月八日	役員会 平成二十三年度決算総会及び送別会
六月六日	公社)福岡県保育協会青年部 研修会 「保育単価を学ぼう」講師 長田朋久氏
六月十一日	補助金データ様式作成会議
六月二十二日	部会内ミニ研修「危機管理について」 例会
六月三十日	北九州市保育所連盟五十周年記念事業 保育まつり2012
七月三十一日	例会
八月五日	わっしょい百万夏祭り
十月十一日 ～十二日	青年部会主催研修会 第二回人材育成のためのスーパービジョン 研修会「保育士の人材育成について」 講師 田園調布学園大学 准教授 山本博之
十月十八～十九日	全私保連青年会議 熊本市大会
十二月六日 ～七日	全私保連青年会議 九州ブロッグ 長崎大会
二月十四日	北九州市私保連青年部会 二十周年記念事業式典
毎月	例会

《活動予定》

【青年部会主催『ワークライフバランス』研修会】

〈日程〉平成二十四年三月七日

〈場所〉レインボープラザ 五階会議室

〈講師〉ワーキングマザーネットワーク代表 本山 晴子

〈内容〉男性の家事・育児参加促進

ワーキングマザーネットワーク代表の本山晴子先生をお招きし出前育児講座WLB研修が開催された。

初めに、現状の家族関係を

再認識するために妻や子ども、両親への関心がどれほどあるのかを書き出し、次に家族の未来関係図(十八年後)を作成し、将来自分の家族がどのよ



うな家族関係になっているかを予想した。そして「自分と家族の時間」、今どんな時間の過ごし方をしているのかを平日と休日を二十四時間グラフで表し、仕事・自分を高める・自分の余暇・妻・子ども・親・友達との時間配分を確認した。

最後に一緒に取り組みたい家事・育児チェックリストを使い自分や妻がやっていること、自分が今まで出ていかなかったことにチェックし研修は修了した。

研修を受け、時間管理の大切さや家族と話す時を多く作る意識改革が出来、今後の仕事や家庭に活かしていきたいと思った。

こじか保育園 山崎 公博

【平成二十三年度決算総会】

〈日程〉平成二十四年五月八日

〈場所〉レインボープラザ五階会議室

〈内容〉部長挨拶・議長選出・平成二十三年度事業報告・収支決算報告・その他の議題

〈参加〉十六名(他に委任状四名)

五月八日、レインボープラザにおいて、平成二十四年度青年部会の総会が行われました。当日議長には、足原だきしめ保育園・梶原 謙吾先生を選出し、円滑に議事が進められ、無事平成二十三年度事業報告・収支決算を議決することができました。

また、本年度も北九州市内保育関係者の皆様にはいろいろと迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、青年部一同より充実した研修会・例会を行ってまいりたいと思います。

【(公社)福岡県保育協会青年部 研修会】

〈日程〉平成二十四年六月六日

〈場所〉福岡市西鉄グランドホテル 瑠璃の間

〈講師〉長田 朋久氏

〈内容〉保育単価を学ぼう

平成二十四年六月六日、福岡県保育協会青年部主催により「保育単価を学ぼう」ということで、全私保連保育単価検討委員長「長田 朋久先生」を講師に、九州各県より青年部員が集まって研修会が開催

されました。

保育園の収入は運営費と補助金に分けられます。補助金は、県や市町村の単独補助ですが、運営費は「児童福祉法最低基準を維持するための最低限の経費」として国から支弁されています。人件費、事務費、事業費と分けられ、さらに内部で細かく積算されています。

昭和二十三年十二月一日に初めて保育単価というものもが制定され、昭和二十六年に初めての改定が行われました。それから社会保険料や、国家公務員給与の改定に伴って改定が行われ今日に至っています。

以前は厚生省(現厚生労働省)より、単価の積算根拠が全て示されていましたが、昭和四十八年に他の児童収容施設が措置費算定法に変更となったのを機会に改定変更点のみの通知になってしまい、それ以降は、推測値の試算となっているそうです。

以前は保育通信に必ず試算した表が添付されていたのですが、現在では、定員区分・地域区分が細かく分かれてしまっている為、表自体が膨大になってしまい、インターネットによるダウンロードと地方組織事務局への配布のみとなっています。



このように積算された内容を知ることが、施設において予算を作成する上において重要なことであるとにも、執行していく際においても将来を見越し、バランスを取っていくことにおいても必要なことであると思われました。

また、現在あまり目にしなくなった勘定科目の内訳についても、丁寧に説明をしていただきました。以前はなかった科目が設定されてきた経緯や、根拠不明確な科目に対する全私保連検討会での会議の様子を聞いていると、先人の地道な努力の積み重ねにより予算として積算されてきた費目があることや、不明確な部分を予測していく苦労を感じることができました。

最後に先生から青年部員へのお願いとして、『預った公金だということを肝に銘じ、「不正」・「ごまかし」だけはやめてください!』とのお言葉を頂き、研修会を終えました。先生自らも青年部のOBということでも、気さくでわかりやすく、ユーモアを交えての研修会でした。詳しい内容は「保育単価を学びましょう」と題して保育通信の平成二十四年一月号より連載されています。ご一読ください。

花園保育園 伊賀良 昌宏

【保育まつり2012】

〈日 程〉平成二十四年六月三十日

〈場 所〉北九州メディアドーム(小倉)

去る六月三十日北九州メディアドームに於いて保育まつりが開催されました。

今回は、北九州市保育所連盟五十周年事業の一環として、規模も大幅に拡大しての開催であり、青

年部会も事前の打ち合わせから参加し、準備に取り掛かってまいりました。

保育まつり当日は、スタッフ駐車場の整理、会場準備、会場への誘導

大盛況に終わった『保育まつり』のお手伝いをさせていただくことが出来ました。

青年部会としては、これ程の規模の企画に参加させていただき、大変貴重な経験をすることが出来ました。また、次にいつこのような大規模な企画が行われるか分かりませんが、青年部会としてこの経験を次の企画、そして次の世代へと受け継いでいければと思います。

【わっしょい百万夏祭り】

〈日 程〉平成二十四年八月五日

〈場 所〉北九州市役所前

八月五日、毎年恒例のわっしょい百万踊りが開催され、今年も保育所連盟のサポート役として、青年部会も参加させていただきました。主な役としては、休憩時のお茶配りですが、青年部員も北九州市民として楽しく参加することができました。

【第二回人材育成のためのスーパービジョン】

〈日 程〉平成二十四年十月十一日・十二日

〈場 所〉レインポープラザ四階四十三会議室

〈講師〉田園調布学園大学 准教授 山本博之 先生

〈内容〉保育士の人材育成についての講演・講習



秋冷えの心地良い十月、田園調布学園大学准教授山本博之様を講師にお迎えして、青年部主催による「第二回人材育成のためのスーパービジョン研修会」が開催されました。昨年から引き続いての研修会ではありましたが、初めて参加された方も多くおられましたので、前半はまず、若い世代の保育士が何に迷い、何故その困難を克服する事が出来ずに辞めてしまうのか。保育士が保育士として機能する上での障害要因は何なのかという事を内面的要因、環境的要因に分けて参加者全員で考えた後、昨年の復習を兼ねてスーパービジョン(人材育成の方法論の一つ)の概論(定義・歴史的背景・構造・機能・形態・効果)を学びました。

後半は、グループごとに「施設長または主任級保育士」「スーパーバイザー」と「新任もしくは経験の浅い保育士」「スーパーバイジー」に分かれてのスーパービジョンのロールプレイを繰り返し行いました。途中、山本先生にアドバイスを頂きながらスーパーバイジーの業務に関してどこで躓き、どのような情報提供や教育をすれば効果的な支援が出来るかを考察しました。

今回の研修を通じて、人材を育成する事の難しさを痛感させ



られました。同時にこの研修で、保育士が困難に相対した時、適切な教育や支援を行う為の方法論を体系的に学ぶ事により、人材を育成していく上での一つ

の大きな指針を得る事が出来ました。
足原だきしめ保育園 梶原 義昭

【部員紹介】

ここでは、今年度より新しく仲間に加わった部員の紹介をさせていただきます。

仁科 博光（守恒保育園）

① 自己PR等

折角青年部に入部させて頂きました。十一月で四五歳になり来年三月で退会というスピード退会になります。短い間ですが宜しくお願い致します。当然、退会後も賛助会員として協力していきたいと思えます。また、昼夜問わずお声が掛ければ参上致しますので、今後とも末長くお付き合いの程、宜しくお願い致します。



② 趣味、特技等

趣味や特技はいろいろありますが、あえてこの場では控えて頂きます(笑)

③ 思い出に残る保育や行事

一番思い出に残る行事は、やはり卒園式です。園児と直接関わる事は少ないですが、やはり在園児が居なくなるのは寂しいものです。しかし、成長し羽ばたいて行く姿には感銘を受けます。

④ これからの保育に対する心構え

これからの保育という事ですが、新システムを含め、保育業界は激変の時期に差しかかっているのでは？と思えます。私としてはまず経営基盤を固め、どのような動きに対しても対応できる状況を作っていく、保育士がどのような保育をするにしても即対応できる環境を作るのが先決だと思っています。

【青年部会20周年記念事業】

（日程）平成二十五年二月十四日（木）

（場所）リーガロイヤルホテル小倉

（内容）記念式典・記念講演等

このたび北九州市私立保育園連盟青年部会が設立二十周年を迎えるにあたり、平成二十五年二月十四日（木）にリーガロイヤルホテル小倉において記念式典並びに記念講演を開催する運びとなりました。

（社）北九州市私立保育園連盟青年部会は昭和五十四年七月発足、平成四年に青年部会として正式に承認され、本年発足三十三年、承認二十年の節目を迎えることが出来ました。これも発足以来、礎を築いてくださった先輩諸氏のご活躍、また当部会の活動を温かい目で見守ってくださった関係者各位のご協力なしにはなし得なかったものと感謝申し上げます。つきましては、現在青年部会を中心に、この記念事業を開催する準備を進めております。お忙しい時期とは存じますが、この記念事業へ多くのご参加をお待ちしております。

【補助金申請のデータ化に作成について】

以前より、要望の多かった補助金申請のデータ化（エクセル方式）を「保育課、保連、青年部会」とで取組むことになり、六月より何度も打ち合わせを行いながら、完成することができました。まだまだ、改善すべき点もありますが、皆様のアドバイスをいただきながら、更により良いものに仕上げたいと思います。

また、補助金申請データが必要な方は、保連にお問い合わせください。

【ホームページについて】

私保連ホームページ内にある青年部会のページをこのほどリニューアルいたしました。これまでは、簡単な情報程度の掲載でしたが、行事予定や活動報告を追加し、部報のデータをダウンロード出来るようにいたしました。

今後とも内容を更に充実させ、ホームページを活用しながら、青年部会の活動をよりよいものにしていくと思います。

（編集後記）

今日は、十一月二十二日です。明日二十三日は、小雪（しょうせつ）です。ご存知のように二十四節気の1つで、僅かながら雪が降り始める頃だそうです。

二十四節気をもっと細かくした七十二候は、小雪の期間を更に以下の3つに分けています。「虹蔵不見（にじ）かくれてみえず」：虹を見かけなくなる。「朔風払葉（さたかせ）このはを はらう」：北風が木の葉を払い除ける。「橘始黄（たちばな）はじめてきばむ」：橘の葉が黄葉し始める」

そして、明日は「勤労感謝の日」でもあります。国民の祝日に関する法律によれば、「勤労をたどとび、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう」ことを趣旨としているそうです。

今後とも青年部報では、これからの時節皆さんがほっと暖かくなるような活動報告を発信しながら、北九州の保育がよりよいものとなるように互いを尊敬・感謝しあい頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願ひ致します。